



神城断層地震から7年、防災を考える日の取り組み



【命を守る行動について対話する子どもたち】

11月19日（金）は、初の試みである保小中合同避難訓練を行いました。数年前から万が一の事態に備えて実際に避難所となる小学校への避難訓練を検討しており、一昨年度は保小合同避難訓練を行いました。

この日は、朝の防災集会で

「1月13日の朝、家やバス停から学校へ歩いてくる途中に、家が壊れるほどの大きな地震が起こったら、自分の命を守るためにどんな行動をとったらよいか」について、全校縦割りのなかよし班4～5人で対話を通して考えました。そして、「しゃがんで低い姿勢になる」「ランドセルを頭に乘せて頭を守る」「危ない所（木、川、家、柱など）から離れる」「高学年が低学年を指示してまとめる」など具体的な行動を発表しました。

その後、9:40に緊急地震速報を聴いて各校園が小谷小学校へ避難しましたが、中学生が到着するまで園児も小学生も一言の私語もなく、静かに緊張感をもって待つことができました。この日の様子は、SBC信越放送、TSBテレビ信州で昼と夕方に放映されました。



【中村校園長会長の話を聴く保小中の子どもたち】

小谷村ケーブルテレビでは、12月1日（水）～8日（水）のおたりマガジン（8:00～、12:00～、17:00～、21:00～）の中で「12月の予定」や「校長先生の今日も絶好調」とともに「11月の行事の様子」として放送されますのでぜひご覧ください。

11月のその他の行事から



【6年修学旅行（南信・木曾方面、11/1, 2）
～妻籠宿ついて話を聴く6年生～



【5年家庭科出前講座（11/2）
～味噌について学ぶ5年生～



【全校参加「人権の花」感謝状贈呈式（11/9）

《感謝》

源長寺住職 室谷一澄様より、マスクを寄贈していただきました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。